

令和3年度 第1回運営推進会議 看護小規模多機能ホームやすらぎ		記載日	令和3年4月13日
		記載者	長田 美紀
議題	1. 利用状況 2. 交流・行事の実施状況 3. 事故・苦情の状況 4. その他		
日時	令和 3年 4月 13日 (火) 10:00~11:00		
紙面開催 敬称略	三入・可部地域包括支援センター センター長 井田 浩美 ご利用者家族代表 植田 美鈴 広島市民生委員 藤原 照夫 上中3区 町内会長 三反田 學 グループホームなごみの郷 管理者 廣森 靖司 看護小規模多機能ホームやすらぎ 管理者 長田 美紀 計画作成担当者 泉 辰徳		
議事	事前に、書面にて報告書を送付し、意見・承認をいただいた。 ① 【利用状況（令和 3年 3/31 現在）】 看護小規模多機能型居宅介護登録者：26名 要介護1： 0人 要介護2： 5人 要介護3： 6人 要介護4： 8人 要介護5： 6人 区分変更申請中： 1名 *平均介護度： 3.64 *平均年齢： 83.6歳 ・新規利用… 2月：3名 3月：2名 理由：退院直後在宅支援・ターミナルケア ・利用終了… 2月：3名 3月：3名 理由：ご逝去、特別養護老人ホームへの入所 <u>通い</u> 利用者実数：26名 一日平均利用者数：12.1名 <u>訪問</u> 看護： 17名 介護： 17名 <u>泊まり</u> 泊り利用の実人数 113名/26名 平均宿泊者人数 5.4名/日 延べ宿泊者数 320名 (2/1-3/31)		

長期宿泊者人数 2名

長期となっている理由

- ・ご本人・ご家族の体調不良や病状不安定
- ・新型コロナウイルス感染症予防（介護者が医療従事者）

②【交流・行事等の実施状況】

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大予防のために交流会は中止。ご利用者の様子についての情報は連絡ノートの活用や電話連絡も含め個別に実施。
- ・現在自粛中。今後は感染症の動向を見ながら検討。
- ・ゲーム式トレーニング（体操含む）、個別趣味活動
- 大々的な行事は「密」を避けるため実施していない。少人数グループで毎日プログラムを組み実施中。

③【事故・苦情の状況（2/1-3/31）】

- 事故…0件
- 苦情…0件

④【その他・今後の予定】

【新型コロナウイルス感染症対策等について】

- ・標準的な予防策とご利用者・職員の健康チェックを行い運営継続中
- ・再度、ご利用者には感染症対策への協力をお願いを書面にて配布。
- ・常時マスク装着（認知症の方の異食行為に注意しながら継続中）
- ・食事時の飛沫予防のためアクリル板を使用中。
- ・送迎時に体調確認をご家族も含めさせていただいている。（体温測定、呼吸器症状など）
- ・送迎時は窓を開けて走行実施。
- ・発熱のあるご利用者は、別の肺炎等の可能性もあるため状況をよく見て医師と相談しながらサービスの可否を検討している。
- ・発熱のあるご利用者は、通いサービスから訪問サービスに切り替えて対応している。

⑤【意見交換・地域情報共有】

【第三者評価について】

- ・新型コロナウイルス感染症予防対策で、内覧会もできずに開催に至ったため、本日は感染予防対策をし、ご利用者と接触しないように注意しながら短時間で事業所内をみていただいた。
- ・事業所内での個人評価・事業所評価の結果を開示し運営推進委員の皆様へ外部評価を行っていただいた。

【意見交換・地域情報共有】

（民生委員藤原様より）

- ・広島市より、できるだけ集まってるの会議は避けるようにという一年間で、

なかなか地域の人と直接情報共有することも難しかった。若い人と違い、オンラインで会議もできなかった。その中で、気になる地域の動向としては、障害を持つかた（精神・若年）や独居世帯が増えて要支援者となりうる状況なのに本人がそれを拒むケース。児童においては、発達障害などの子供さんが増えてきて、登校時に母親が同伴するケースが増えている。高齢者だけの問題ではないが、本人が嫌がるから事が起きてからじゃないと介入しづらい現状がある。

（町内会長三反田様より）

・高齢者の見守りネットワークも3年経過しているが、なかなか進んでいない現状。介入が難しい。藤原さんが言うように、嫌がられる。しかし、そうも言われてられない状況になっているので今年はなんとか前に進めていきたい。その時にご協力ください。

（看護小規模多機能ホームやすらぎ）

・自治会の活動も自粛中で地域の行事にも参加できず1年が経過した。
・相談者の方で、実子と同居中でも介護力がないケースが珍しくない。いわゆる8050問題。この地域でもそのような家庭はあると思う。子供から高齢者まで、この地域で生活しやすい環境にしていきたい。

【連泊利用者の承認】

現在、二名の連泊者の方がおられます。①ご家族の体調不良（加療中）で介護負担の軽減のためと、②コロナ感染症予防のためです。②については、キーパーソンの方が医療従事者であるため接触を避けている事情があります。

① ②のケースについて、どちらもやむを得ない状況であるため継続利用はかまわないのではないのでしょうか。今後のコロナの状況では、家族が就業していて医療従事者であり、主介護者が感染症を発症するケースもありうるので、困っているのであれば、濃厚接触がなければ相談に乗ったほうが良いのではないのでしょうか。

【次回運営推進会議…6/8（火）10：00～を予定】

以上